

2026/04/17 (予定) 機能追加

## 外貨から円貨への換算に対応 他 10 件

Ver.260331

### 為替換算

#### 外貨から円貨への換算に対応

『勘定奉行クラウド Global Edition』をご利用のグループ個社の金額や、円貨（日本円）以外の財務諸表の金額も収集・合算できるようになりました。

収集する際に、外貨から円貨へ換算されるので、海外のグループ個社も含めた連結精算表を作成できます。

為替換算を含め、当サービスでできることの詳細は、目的から探す「[『奉行AIエージェント 連結会計支援クラウド』とは](#)」をご参照ください。

#### 追加メニュー

〔為替換算 - 為替レート〕メニュー

〔為替換算 - 為替換算後金額〕メニュー

追加メニューが表示されない場合は、[こちら](#)をご参照ください。

#### 対応メニュー

〔連結データ情報 - 連結科目 - 勘定科目〕メニュー（〔F8：システム科目〕を押して表示される〔勘定科目 - システム科目設定〕画面の〔基本〕ページに「為替換算調整勘定」を追加）

〔収集 - 収集設定 - 連結対象法人〕メニュー

〔収集 - 収集〕メニュー内のすべてのメニュー

〔収集金額検証 - 収集金額確認〕メニュー

〔内部取引照合 - 内部取引突合〕メニュー

### 連結データ情報

#### 連結仕訳区分の見直し

〔仕訳伝票区分〕メニューの「連結仕訳区分」の表現を見直し、「繰越」「振戻」列を追加しました。



開始仕訳として翌期に引き継ぐ仕訳伝票区分は繰越「する」を、開始仕訳の振戻仕訳を作成する仕訳伝票区分は振戻「する」を選択します。

自動作成される仕訳は、目的から探す「[「〇月の処理を完了する」をクリックした際に自動作成される仕訳](#)」をご参照ください。

### 対応メニュー

[連結データ情報 - 連結仕訳種別 - 仕訳伝票区分] メニュー

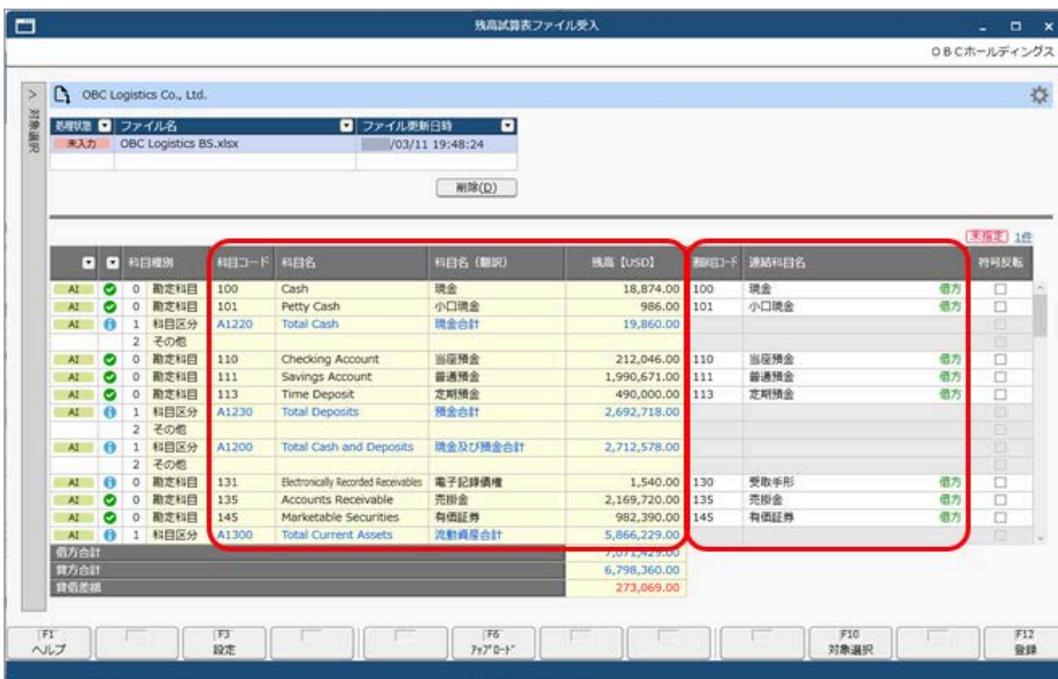
## 収集

### 科目や取引先を自動で関連付ける「奉行AIアシスタント」を搭載

画面を表示する際やファイルを受け入れる際に、「項目マッピングAIアシスタント」が、連結データの科目・法人とグループ会社の科目・取引先を、自動で関連付けるようになりました。

AIが、科目の意味を推測したり、勘定科目か科目区分かを判断します。

また、日本語以外の科目名を受け入れた場合は、日本語に翻訳したうえで関連付けます。



### 対応メニュー

[収集 - 収集設定 - 連結科目設定] メニュー

[収集 - 収集 - 収集[ファイル受入] - 残高試算表ファイル受入] メニュー

[収集 - 収集 - 収集[ファイル受入] - 内部取引明細ファイル受入] メニュー

[内部取引照合 - 突合設定 - 突合取引先設定] メニュー

## 収集金額検証

### 【収集金額確認】メニューで、どの勘定科目を符号反転したかを確認したい

【残高試算表ファイル受入】メニューでファイルを受け入れた際、どの勘定科目の「符号反転」列にチェックを付けたかを、【収集金額確認】メニューでも確認できるようになりました。

符号反転した勘定科目には、✓が表示されます。

#### 対応メニュー

【収集金額検証 - 収集金額確認】メニュー

### 【連結データで貸借差額が発生した場合に、アイコンで知らせてほしい

【収集金額確認】メニューで、画面右側に表示される「連結科目組替後」の「資産合計」と「負債純資産合計」の金額に差異がある場合、法人名の右側に⚠が表示されるようになりました。

⚠にマウスカーソルをあてると、「資産合計」と「負債純資産合計」、「差額」を確認できます。

#### 対応メニュー

【収集金額検証 - 収集金額確認】メニュー

### 【取引明細】画面で、相手マスターを確認したい

【収集金額確認】メニューや【内部取引突合】メニューで【F6：取引明細】を押して表示される【取引明細】画面に、確認できる項目を追加しました。

相手マスターを確認できるので、マスターの指定漏れを確認しやすくなります。

また、画面右側の「出力項目」を押して、画面に表示する項目を並べ替えることもできます。

追加した項目は、以下のとおりです。

項目種別	項目名
マスター	部門コード、部門、 補助科目コード、補助科目、 セグメント1コード、セグメント1、 セグメント2コード、セグメント2
金額	借方取引通貨金額、貸方取引通貨金額、取引通貨残高 (通貨が「JPY」以外の法人の場合)
通貨	通貨 (通貨が「JPY」以外の法人の場合)
相手マスター	相手部門コード、相手部門、 相手補助科目コード、相手補助科目、 相手取引先コード、相手取引先、 相手セグメント1コード、相手セグメント1、 相手セグメント2コード、相手セグメント2
履歴	最終更新日時 (【内部取引突合】メニューだけ)

#### 対応メニュー

【収集金額検証 - 収集金額確認】メニュー

【内部取引照合 - 内部取引突合】メニュー

## 内部取引照合

### 【内部取引を突合する「奉行AIアシスタント」の性能向上

お客様からのご要望を受けて、【内部取引突合】メニューの「明細突合AIアシスタント」の性能が向上しました。

- 日付・金額・摘要をもとに、1:Nの内部取引も突合できるようになりました
- 月末と月初など、月を跨いだ内部取引も突合できるようになりました

## 対応メニュー

[内部取引照合 - 内部取引突合] メニュー

## 内部取引の許容額を突合パターンごとに設定したい

[突合科目設定] メニューで、突合パターンごとに差額許容額を設定できるようになりました。差額許容額を超える差額が発生している場合に、[内部取引突合] メニューの差額列が黄色く強調表示されます。

## 対応メニュー

[内部取引照合 - 内部取引突合] メニュー

[内部取引照合 - 突合設定 - 突合科目設定] メニュー

## その他

### メニューを選択する際の視認性と操作性を向上

メインメニューで第1階層を選択したときの、第2階層のメニューの展開方向が変わりました。第2階層が右側に表示されるようになり、第2階層を見ながら第1階層のメニューを選択できるようになりました。なお、サービス起動後初回は、第1階層のメニューを選択すると前回最後に起動していたメニューまで展開され、作業していたメニューをスムーズに起動できるようになりました。



(画面は、『勘定奉行クラウド』の画面です。)

### 文字と背景色のコントラスト比とフォーカス表現を調整

視認性向上のため、文字と背景色のコントラスト比を調整しました。また、フォーカス表現を破線から実線に変更しました。



## 変更前

## 変更後

貸借対照表		損益計算書	
コード	科目名	2025年 4月 発生	2025年 5月 発生
100	現金	0	0
101	小口現金	0	0
A1220	現金計	0	0

貸借対照表		損益計算書	
コード	科目名	2025年 4月 発生	2025年 5月 発生
100	現金	0	0
101	小口現金	0	0
A1220	現金計	0	0

(画面は、『勘定奉行クラウド』の画面です。)

## パスワード可視化機能とCapsLock判定機能を追加

パスワードを入力できるすべての画面に、一律、以下の機能を追加しました。

- パスワードを表示できるようになりました。  
目のアイコンをクリックすると、パスワードの表示／非表示を切り替えられます。



- [CapsLock] キーがオンになっていることに気づけるよう、『管理ポータル』などのWebアプリでも、メッセージが表示されるようになりました。



内容については、変更または次回以降へ延期する場合があります。